

(様式1)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	1 6	学校名	宇都宮市立石井小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	------------

平成30年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤として、豊かな心と健やかな体をもち、自らの課題を意欲をもって創造的に解決することができる、たくましく生きる力をもった児童の育成を目指す。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

【教育目標（目指す児童像）】	【合言葉】	【具体目標】
健康で 根気強い子	きたえる	体力・気力の増進
進んで学び よく考える子	考える	確かな学力の定着
心豊かで 思いやりのある子	助け合う	豊かな心の育成

2 学校経営の理念

テーマ「豊かな心、楽しい学校、地域で育つ子どもたち」

全職員が、相互信頼と協働性を基盤に学校経営に参画し、目指す児童像に対応した教育活動の実践に努める。

この教育活動を展開するために、「目指す学校像」、「目指す教職員像」を設定し学校経営を推進する。

＜目指す学校像＞（行きたくなる学校）（行かせたくなる学校）

「明るく活力のある学校」：学ぶ楽しさを味わい、一人一人が生き生きと活動している学校

「温かく居がいのある学校」：認め合い、励まし合って、一人一人のよさや個性が発揮できる学校

「地域と共に歩み信頼される学校」：保護者や地域との連携を強化し、心を合わせて児童を育成する学校

＜目指す教職員像＞（勤めたくなる学校）

「前向きで、熱意がある教職員」

「愛情をもって子どもと向き合う教職員」

「自己研鑽に努め、協働を大切にする教職員」

3 学校経営の方針

(1) 豊かな心の育成

人間尊重の精神を基盤とし、児童一人一人のもつ「持ち味」や「よさ」等を見取るとともに、児童とのふれ合いを通して、自信や自己有用感、規範意識、思いやりの心の育成に努める。

(2) 学習指導の充実

一人一人の児童を多くの教職員で様々な視点から見取りながら、「楽しく、分かる授業」を展開し、基礎・基本の定着を図るとともに、それらを活用する力を育成するとともに、目標に向かって自ら学ぶ意欲を育む。

(3) 健康・体力の保持増進

気力や体力を育む教育活動の充実に努め、生涯に渡って心身ともに健康で安全に生活できる資質や能力の育成に努める。

(4) 教職員の資質の向上

教育公務員としての自覚をもち、サービスを遵守するとともに、進んで自己研鑽に励み、自らの資質を高め、さらに、協働の精神を大切に、教職員・児童へ還元できるよう努める。

(5) 危機管理・環境整備の充実

安心・安全に過ごすことのできる教育環境や落ち着いた生活できる潤いのある教育環境の整備に努める。

(6) 地域と共に歩み、信頼された学校づくり

地域の教育資源や資料を活用し、郷土への愛情と誇りを育む学習の充実に努め、家庭・地域社会との連携を密にし、地域の教育力を生かした信頼と協力を基盤とする「地域とともにある学校づくり」に努める。

(7) 小中一貫教育の推進

陽東地区内の小中学校が連携し、義務教育9年間を総合的にとらえ、児童生徒の心豊かでたくましく生きる力の育成を目指した教育活動の推進に努める。

(8) 働き方改革

勤務時間を意識した働き方の推進及び校内の業務の適正化に努める。

「陽東地域学校園教育ビジョン」

テーマ「地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」

4 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- ・ 「豊かな心、楽しい学校、地域で育つ子どもたち」を目指し、地区内小中学校、保護者、地域関係者、宇都宮大学、団体・企業などと連携・協力し、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。
- ・ 児童が自己の個性や能力を遺憾なく発揮し、互いに認め、協力し合って伸長できる学校づくりを推進する。
- ・ 学校力・組織力強化のため、協働体制・支援体制の充実と信頼関係に基づいた職場環境づくりを推進する。同僚に、主任へ、管理者への報告・連絡・相談により、組織的に対応する。
- ・ 「新しい取組」と「廃棄する取組」と「簡素化する取組」を仕分けし、児童と向き合う時間をより多く確保する。

(2) 学習指導

- ① 基礎・基本の確実な定着
 - ・ 各調査の分析に基づいた、実効性の高い取組を検討と共通実践
 - ・ 体験的、問題解決的な学習を取り入れた、楽しく分かる授業の展開
 - ・ 授業における学習のめあての提示と振り返りの場の確実な設定
 - ・ 効果的な発問・指示・支援・板書の工夫
 - ・ 個に応じた補充的な学習や発展的な学習の充実
 - ・ 多様な学習形態や授業形態の実施（習熟度別学習・少人数指導、T T、教科担任制）
 - ・ 朝の学習の時間の活用と充実（振り返り学習の実施）
- 研修体制の確立と学校研究課題に基づく一人一研究の実践
- ② 思考力・判断力・表現力など確かな学力の育成
 - ・ 多様な解決方法や表現方法を生み出す支援の工夫
- ペア学習やグループ学習、全体学習など話し合いの場の工夫
 - ・ 互いの共通点や相違点を明確にし、話し合いや学び合いを深める支援の工夫
 - ・ I C Tの効果的な活用
- ③ 学習意欲と態度の育成
 - ・ 主体的に学習に取り組む態度の育成
 - ・ 学習意欲を喚起する課題の設定と提示の工夫
 - ・ 学習したことを活用したり追究したりする活動の工夫
 - ・ 「聞く」「話す」態度の定着
 - ・ 「石井っ子の学び」の効果的な活用
- ④ 学習習慣の定着
 - ・ 自ら目標をもち、主体的に学習に取り組む態度を育成
 - ・ 学年に応じた家庭学習、自主学習に取り組む態度の育成と習慣化
- ⑤ 特別支援教育の充実
 - ・ 特別支援委員会の開催と配慮を要する児童の実態把握と対応の共通理解

- ・学級担任，特別支援コーディネーター，特別支援学級担任，特別支援教室指導員と連携を図った指導の充実
- ・児童一人一人の実態に応じた効果的な個別指導の展開
- ・学校，保護者，関係機関の連携を図った特別支援教育の推進

(3) 児童生徒指導

- ① 心を育む教育の充実
 - ・道徳科(道徳の時間)の充実による，児童の道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度の育成
 - ・朝の読書やボランティアによる読み聞かせ，図書貸し出しの充実などによる読書の日常化
 - ・体験活動や交流活動，ボランティア活動など多様な活動の工夫
 - ・校内学習・生活環境（掲示物）の充実
- ② 基本的な生活習慣の定着
 - あいさつの励行と児童主体のあいさつ運動の実施
 - ・適切な言葉づかいや返事，マナー，廊下の歩行の継続的指導
 - ・「石井っ子の生活」のきまりに基づく指導の推進
 - ・生活当番活動の充実
- ③ 望ましい人間関係の確立
 - ・異年齢集団活動やふれあいタイムの充実
 - ・校内外における様々な人との交流活動の展開
 - ・よさを認め合う場，よさを生かす場の設定
 - ・Q-Uの実施と結果の活用
 - ・学年集会の時間における集会活動（スポーツ，奉仕活動，集会）
- ④ 教育相談の充実
 - ・共感的理解に基づいた指導の実践
 - ・教育相談強化月間の充実
 - ・連絡帳やスタンダードダイアリーの活用
 - ・SCや関係機関と連携した相談体制の確立
- ⑤ 社会性や規範意識の醸成
 - ・全校体制での問題行動の早期発見・早期対応
 - ・いじめゼロ強化月間，人権週間の活用
 - ・社会規範やモラルについての指導の充実
 - ・校内児童指導委員会の定期的開催

(4) 健康（体力・保健・食・安全）（元気アップ教育に係る取組を含む）

- ① 運動への意欲と体力の向上
 - ・運動量に満ちた教科体育の実施
 - ・各種検定（縄跳び，持久走，水泳）やミニマムを活用した楽しく充実した授業の推進
 - ・体育的行事の充実
 - ・外遊びの奨励と共有の時間の有効活用
- ② 健康的な生活習慣の定着
 - ・学校栄養職員と連携した食育指導の充実
 - お弁当の日を活用した食に関する意識の向上
 - ・ランチルームの効果的活用とセレクト給食バイキング給食の実施
 - ・食事のマナーと望ましい食生活の推進
 - ・保護者と連携した「早寝，早起き，朝ごはん」の推進
- ③ 保健指導の充実
 - ・健康診断結果の活用と事後処理の徹底
 - 養護教諭と連携した保健指導の実施
 - ・歯磨き・うがい・手洗いの習慣化（感染症予防）
 - ・性と命，薬物乱用防止教育の推進
 - ・肥満防止，解消への指導の工夫
 - ・学校保健委員会の有効活用や学校医，薬剤師との連携強化

④ 安全教育・危機管理の徹底

- ・関係機関と連携した交通安全教室や避難訓練の実施など安全指導の徹底
- ・危険地域マップを活用した危険予知能力や危機回避能力の育成
- ・安全ボランティア、スクールガード、警察等の関係機関との連携強化
- ・危機管理マニュアルの共通理解と地震、台風等自然災害時における連絡体制の徹底
- ・食物アレルギー対応における、家庭、学校、給食調理室との連携強化と緊急時の連絡体制の徹底

5 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

6 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

地域の教育力を生かした活動を推進し、自主的・自立的な態度の育成を目指す。

(2) 具体的取組（「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

① 実感体験学習

学年の発達段階に応じて、自然体験や社会体験、ボランティアなど様々な体験活動を展開し、子どもたちの知的好奇心や探究心を育成する。

<主な具体的取組>

- ◇農業体験学習（米作り、さつまいも作り） ・自然体験学習
- ◇かまどご飯炊き体験 ・地域清掃ボランティア体験

② 心交流学习

学校内の児童や地域の保育園児、大人、敬老者など、様々な世代の人との交流を通して、思いやる心や感謝の心など豊かな心を育成する。

<主な具体的取組>

- ・異学年交流「みんなで遊ぼう集会」 ・縦割り班活動「にこにこタイム」
- ・石井っ子祭り ◇保育園訪問 ・地域ふれあい給食

③ 地域郷土学習

地域の見識者や宇都宮大学の職員・学生など、地域のボランティアから学んだり、地域の施設や自然を活用し郷土について学習したりして、学びを深める。

<主な具体的取組>

- ◇学生ボランティア支援学習 ・ボランティアによる読み聞かせ
- ・地域の自然と遊ぼう ◇老人会との昔遊び ◇地域の歴史講話

④ 未来夢学習

人との触れ合いから、働くことの大切さや命の尊さを感じ取り、夢を抱かせ、将来への希望を高め、実現に向けての意識と態度を育成する。

<主な具体的取組>

- ・町探検 ・買い物体験 ・工場、施設見学 ・薬物乱用防止教室
- ・命の授業 ◇職業人の講話

7 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

① 基本的考え

学校や保護者、育成会等と自治会（22自治会）をはじめとする各種団体（22団体）などの地域の団体、企業が一体となって、学校教育の充実と家庭・地域の教育力向上に向け連携を強化し、心を合わせて児童を育成する。

② 主な取組

○ 積極的な情報発信

- ・各種たより、ホームページ、学校公開、保護者会等による保護者、地域への積極的な情報提供

- ・地域協議会や学校マネジメントシステムによる経営方針の説明と地域や保護者からの意見徴収

- 家庭、地域との連携・協力の推進
 - ・家庭、地域、企業と連携した指導の推進
 - ・校外学習や交流活動、外部講師を招いた学習の実施
 - ・教育ボランティアの有効活用
 - ・祭りやイベントなど地域や保護者と連携した行事の開催と積極的な参加
- 特色ある教育活動の推進
 - ・地域と連携し、地域の教育力を生かした活動の推進
(実感体験学習、心交流学習、地域郷土学習、未来夢学習)

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

陽東地区内の小中学校が連携し、実態から得た「育てたい力」や「目指す15歳像」「指導の重点」を基に、指導構想を明確にし、義務教育9年間を総合的にとらえ、児童生徒の心豊かでたくましく生きる力の育成を目指した教育活動の推進する。

② 主な取組

- 地域学校園の連携協力体制の充実
 - ・テーマ「地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」に基づいた各種活動の実践
 - ・キャリア教育を核とした活動の推進
 - ・各部会（「学力向上部会」「健康・体力・食育部会」「学校生活部会」）の中での問題点や改善策の共通理解
 - ・陽東学校園ナビを活用し、9年間を見通した家庭、地域、学校が連携した教育の推進
 - ・児童生徒に関する積極的な情報交換
- 地域学校園の合同活動・交流活動の推進
 - ・地域学校園合同のあいさつ運動や特別支援学級交流会、中学校見学会の計画的実施
 - ・小中交流授業の継続実施
 - ・教育活動や地域行事における児童生徒の交流の場の充実
 - ・地域交流を積極的に図り、夢を育む授業の実践

(3) 不登校対策

① 基本的な考え

- 学級担任だけの問題とせず、学校全体の取組として、不登校の予防及び未然防止、そして発生後の丁寧な対応に努め、不登校ゼロを目指す。

② 主な取組

- 日頃からの丁寧な児童理解及び保護者との情報共有
- ケース会議の開催と具体的な取組の進捗状況の確認等、チームとしての取り組みの推進